

答案用紙

受験番号					
------	--	--	--	--	--

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

技術部門		部門
選択科目		
専門とする事項		

問題番号	I -
------	-----

← 解答する問題番号（1又は2）を点線の枠内に必ず記入すること。
 ○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

2022R4 III-1

中核市などの地方都市においてはコンパクトプラスネットワークの
 実現に向けて多様な関係者が連携し、まちの中心となる駅まち
 空間（駅前広場と周辺街区）を魅力ある空間として再構築
 を行うことが求められている。このような状況を踏まえ以下の問に
 答えよ

- ① 地方都市における駅まち空間の再構築を進めるにあたっての課題を技術者としての立場で多面的な観点から3つ抽出しそれぞれの観点を明記した上でその課題の内容を示せ
- ② 抽出した課題の内、最も重要と考える課題を一つ上げ、その課題に対する複数の解決策を示せ
- ③ 全問②でしめしたすべての解決策を実施しても新たに生じうるリスクとそれへの対策について専門技術を踏まえた考えを示せ

●答案用紙の解答欄の枠内に記載した解答のみ採点対象とします。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1 多面的な観点とその課題

(1) いかに関係者に多様な主体と連携を図るか

駅前空間は、交通事業者や鉄道事業者 ① などの多く関係者が存在する。また駅前は公共交通の結節点であり、施設の所有者や管理の区分が多岐にわたるため権利調整が複雑化する傾向にある。

よって合意形成面の観点から、検討体制の構築が課題 ② である。

① 鉄道事業は、交通事業者です。

② 読点がありません（中断の「また」も同様）。合意形成面はおかしな表現です。この場合は、体制面の観点とし、課題はタイトルのままで良いのではないのでしょうか。よって、「体制面の観点から、多様な主体との連携が課題である。」としてはいかがでしょうか。

(2) いかに関係者に利便性の向上を図るか

駅前空間は、各施設の所有者が、それぞれに必要な空間を確保し管理している ③ 。そのため、一体的な整備となっていないため 駅前の利便性 ④ が低下している。

よって快適面の観点から、施設の所有区分に関わらず、駅まち空間 ⑤ 全体を一体的な 空間として共有すること が課題 ⑥ である。

③ 主語・述語がおかしいです。駅前空間が主語なら、述語は受身となり「管理されている」です。所有者が主語なら、駅前空間は削除です。よって、「駅前空間は、各施設の所有者によって、管理されている。」または「各施設の所有者が、それぞれに必要な駅前空間を確保し管理している。」になります。後述とのつながりを踏まえると、「確保し」→「整備し」ですね。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

- ④ 利便性はもう少し具体的に書かないと管理者がそれぞれ管理していることのデメリットが理解できません。例えば、「円滑な乗り換え」などが考えられます。
- ⑤ 同じ空間を指しているのであれば、同じ表現にすべきです。「駅前空間」、「駅前」、「駅まち空間」の3種類が出てきています。使い分けをするのであれば、違いが分かるように表現すべきです。この場合は、市街地は含まれていなさそうなので、駅前空間（駅前広場？）ですかね。そういう意味では、市街地空間が含まれていないので、題意を十分満たした解答になっていないとも言えます。
- ⑥ 空間として共有するという行動が何なのか分かりません。また、タイトルは利便性の向上になっており、不整合ではないでしょうか。おそらく、空間を共有すると利便性が高まるとの主張だと思いますが、説明がないので理解できません（整備＝共有？）。

(3) いかにサービスの向上を図るか

駅前空間は、各施設の所有者が、それぞれに独自のサービスを利用者に提供している⑦。そのため、事業者間のサービスの不一致から⑧満足いくサービスとなっていない。

よって、利便面⑨の観点からシームレスな公共交通環境の構築⑩などの各事業者間のサービス連携を図る⑪ことが課題である。

- ⑦ ③と同様。「各施設の所有者がサービスを提供する」との表現も分かりづらいです。駅前空間の施設とは、何を指しているのか判然としません。一般には、道路、ライフライン関連施設、鉄道施設、バス関連施設などがあります。道路やライフラインは、交通事業者とサービスは異なり、不一致であることに不満は生じないと思います。おそらくは、交通事業者間のサービスを言っているのですかね？

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

- ⑧ 理由が2つになっています。「そのため（独自のサービス提供）」と「サービスの不一致から」です。とどのつまり、同じ理由になっているように見えます。
- ⑨ 「面」は見方を表すので使い勝手が良いのですが、この場合は利便性の方がしっくりきます。
- ⑩ シームレスな交通環境と言われてしまうと、乗り継ぎをイメージしてしまいます。サービスが判然としませんが、MaaSのようなサービスをイメージしていますか、それとも乗り継ぎサービスをイメージしていますか。いずれにせよ、読み手は理解できません。
- ⑪ タイトルと不整合です。

2 最も重要な課題

駅まち空間を魅力ある空間として再構築するためには、多数の関係者間と合意形成を図ることが重要⑫であることから、上記のうち、「いかに多様な主体と連携を図るか」を最も重要な課題に選定し、以下に解決策を述べる。

- ⑫ 他の課題も重要ですよ。 「最も」なので、合意形成が一番重要であることの理由を書くべきです。よって、理由は、3つの課題の相対評価になります。

(1) 将来ビジョンの共有

駅まち空間は、多様な事業者が業を営み、地域住民が生活の場とする空間である。課題やビジョン（まちの理想像）、具体的な方策案などについて、常に多種多様な関係者とイメージを共有しながら進める⑬

- ⑬ 句点なし。解決策なので、イメージを共有する具体的な方法を書くべきです。また、「進める」とありますが、何を進めるのか分かりません。さらに、なぜ共有しながら進めるのかも不明です。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

(2) エリアプラットフォーム ^⑭ の 形 成
 駅 ま ち 空 間 は 、 多 様 な 関 係 者 が 存 在 す る ^⑮ 。 よ っ て
 行 政 、 交 通 事 業 者 ・ 開 発 事 業 者 ・ 地 域 関 係 者 ・ 有 識 者
 な ど が 、 連 携 し て 、 計 画 づ く り や 運 営 を 行 っ て い く 体
 制 づ く り が 重 要 で あ る 。 そ の た め 、 ま ち づ く り に 関 わ
 る 民 間 企 業 、 行 政 機 関 、 大 学 な ど ^⑯ の 組 織 か ら 構 成 さ
 れ る エ リ ア プ ラ ッ ト フ ォ ー ム を 設 立 す る 。 ^⑰

- ⑭ →「プラットフォーム (platform)」
- ⑮ 課題と同じ内容です。不要。
- ⑯ 前述に例示列挙しているので、これも不要。
- ⑰ 関係者がいっぱいいるからといった理由だけでなく、エリアプラットフォームの効果なども書くべきです。また、協議会でなくエリアプラットフォームとした理由も必要と考えます (この内容ですと協議会に見えます)。

(3) わかりやすい情報発信
 多 種 多 様 な 関 係 者 と イ メ ー ジ を 共 有 し な が ら 進 め る
 こ と が 重 要 で あ る た め 、 わ か り や す い イ メ ー ジ 図 や 図
 表 を 用 い る な ど 見 え る 化 の 工 夫 が 必 要 で あ る 。 ^⑱
 具 体 的 に は I N S T A G R A M や Y O U T U B E な ど の
S N S を 活 用 ^⑲ す る こ と や 、 高 齢 者 や 外 国 人 に 向 け て
 は 大 き な 文 字 や 将 来 イ メ ー ジ 図 で 分 か り や す い 表 現 を
 行 う な ど 、 分 か る ・ 伝 わ る 情 報 発 信 ^⑳ が 効 果 的 で あ る 。

- ⑱ これは、(1)のビジョンの共有を図るための具体的な方法です。(1)と同じ解決策になっています。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

- ⑱ 見える化の必要性を言っているにもかかわらず、SNS の活用が具体的方法では因果関係がないのではありませんか。SNS はプッシュ型の情報発信が特徴であり、見える化のツールとして違和感があります。
- ⑳ 関係者の連携を促進することが目的で、この情報発信がどうして連携につながるのかが分かりません。これは、連携という目的が抽象的だからだと思います。

3 新に生じるリスクとそれへの対策

(1) 財源不足に陥るおそれ

大規模な再開発事業など、自治体の一般財源や民間資金に頼ざるを得ない事業^㉑となり、事業費や事業期間が大きくなり^㉒財源不足に陥るおそれがある。

リスク(1)に対する対応

初期投資の少ない社会実験から開始して効果や課題を見つけながらステップアップする^㉓。

- ㉑ なぜ連携すると財源不足になるのか、なぜいきなり再開発の話になるのか、説明が全くないので理解できません。また、公共や民間の財源となることを心配していますが、どのような事業もどちらかまたは両方になるのではありませんか。財源の何を心配しているのか分かりません。さらに、事業が何かもわかりません。加えて、連携によって新たな生じるリスクではなく、最初から存在しているリスクではありませんか。
- ㉒ 「〇〇となり」が連続しています。また、前半の理由は、㉑のとおり財源不足に陥る理由になっていません。
- ㉓ 投資の仕方が変わるだけで、全体のコストは変わらないのではありませんか。また、懸念されている事業期間はもっと長くなるのではありませんか。公共コスト負担の平準化を言っているのですかね？民間投資であれば、収支で捉えるべきです。誰の行動なのか分かりません。

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

(2) 事業 ⑳ が 複雑化し 権利調整 が 停滞する おそれ
駅 前 空 間 を 管 理 す る 各 法 令 (道 路 法 、 建 築 基 準 法 、
都 市 計 画 法 等) に よ る 規 制 が 多 岐 に わ た る ㉑ 。
よ っ て 規 制 の 解 除 、 規 制 の 緩 和 ㉒ 、 そ れ ら に 付 随 す
る 権 利 義 務 調 整 が 複 雑 で あ り 調 整 に 時 間 を 要 し 事 業 が
停 滞 す る お そ れ が あ る 。

- ㉑ これも何の事業かわかりません。
- ㉒ 駅前空間に限ったことではありません。また、㉑と同様、新たに生じるリスクではありません。
- ㉓ 規制が多岐にわたるからといった理由では、無秩序なまちづくりになってしまいますので、賛同できません。また、この規制緩和が前提となったリスクは、適切でないと考えます。

リ ス ク (2) に 対 す る 対 応
交 通 事 業 者 、 駅 前 商 業 者 な ど の 各 種 事 業 者 と 行 政 と
の マ ネ ー ジ メ ン ト を 行 う 専 門 家 を 採 用 し ㉔ 、 円 滑 な 意
思 疎 通 を 図 る 。
以 上 ㉕

- ㉔ 誰が採用するのですか。
- ㉕ 最後まで書ききることは、合格の条件と考えてください。